

常総市で考えられる地震とそのメカニズム

地震はなぜおこるのか？

地球の表面は十数枚の「プレート」という固い岩石の層におおわれています。このプレートは大陸や海をのせてゆっくり動いています。これらのプレート同士がぶつかったり、押し合ったりして、プレートに力が加わります。これが地震のおもな原因です。

さらに細かく見てみると、地震が起こる場所や起こる原因などによっていくつかのタイプがあります。代表的なものとしてはプレート同士の境目付近で起こる海溝型地震や活断層で発生する地震などです。

プレート境界の地震

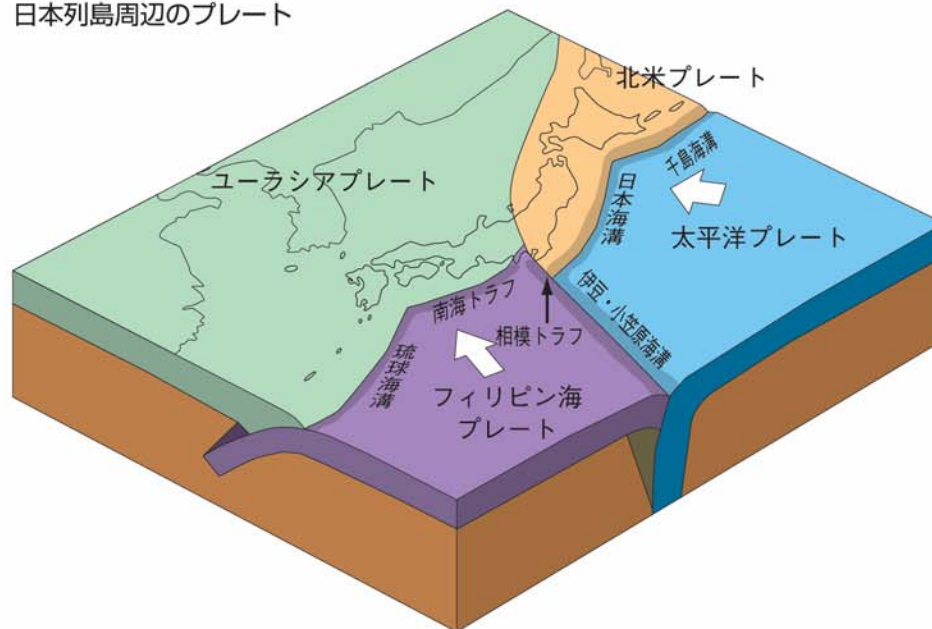
海のプレートが沈み込むときに、陸側のプレートを一緒に引きずり込みます。この時、陸のプレートがその力にたえきれず、元にもどろうとする時に地震が発生します。関東地方の周辺では、大正12年（1923年）の関東大震災（関東地震）など、相模トラフや日本海溝周辺でこのタイプの地震が発生しています。

内陸直下の地震（活断層で発生する地震あるいは地表に現れていない断層で発生する地震）

海のプレートが陸のプレートを押すことで、海や陸のプレート内に様々な力がかかり、プレート内の弱い部分が破壊され、地震が発生します。

陸側の浅いプレート内で起こる地震（内陸直下の地震）は、人が多く住んでいる場所のすぐ下で起こることもあり、その場合は大きな被害が生じます。平成7年（1995年）に発生した阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）や平成16年（2004年）の新潟県中越地震は、このタイプの地震です。

日本列島周辺のプレート



地震が起こる場所

